

神奈川県の学童保育

桜も見ごろを迎え、新しい年度が始まりました。子どもたちもソワソワする季節です。新一年生は学校生活と学童保育の生活、一度に二つの新しい生活が始まります。期待と不安でいっぱいです。また、一年生を迎えるにあたって、“どんな一年生なのか?” “一年生にいいところ見せなくちゃ!!” と言う思いいっぱいの2年生以上の子どもたちも緊張の毎日。子どもたちと保護者と試行錯誤しながら、子ども子育て支援制度が施行されても、子どもも保護者も安心できる生活を守っていきましょう。

第38回神奈川県学童保育研究集会を開催

— いいね!!学童保育 —

小雨降るあいにくの天候でしたが、3月1日(日)に、神奈川県学童保育研究集会(愛称;かな研)が横浜市開港記念会館と神奈川県庁新庁舎を会場にして実施されました。38回目となる今回は、県と横浜市などの31の自治体、県と川崎市などの30の教育委員会、および神奈川県PTA協議会と神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)の後援を得ての開催となりました。

10時からの開会行事は、開港記念会館講堂の1階席がほぼ満席になる盛況さで、実行委員長の挨拶で始まりました。来賓として「神奈川県の学童保育を支える議員連盟」の牧島会長と「県次世代育成課」の石渡課長の挨拶をいただいた後、神奈川県学童保育連絡協議会の小神会長の基調報告と続きました。そして、平塚市の指導員、市川さんによる「仲間とつながって・・・」と題する特別報告がありました。客席からの応援もあって、とても感動的な体験談でした。

10時30分からは、三輪先生による記念講演が始まりました。子どもたちのおかれている状況、子ども本来の姿、大人の役割など、ご自身の経験に基づいた、いろいろ考えさせられるお話を聞くことができました。特に、「み・は・ほ」の精神での子育てというのが印象的でした。

午後は、開港記念会館の他にも県庁新庁舎8,9階の大会議室や委員会室を会場に加えて、15の分科会がもたれました。各分科会とも、世話人を中心に、それぞれのテーマにそって活発に討議や情報交換などが行われました。

全体会、分科会を通して多くの参加者がいろいろ学習したり、元気づけられたりと、得るものが多くあった1日となりました。

(写真は記念講演の三輪睦雄氏)



参加者の感想から

平塚指導員による特別報告

心を打たれた。一人で深く考え、悩みながらまっすぐに子どもたちと学童保育の仕事と、向き合ってきたことが良く分かった。指導員会に入って仲間ができて、指導員としても人間としても大きく前進できた様子で希望を感じた。キーワードの「温かい」「あったかい」を大切にしていきたい。

記念講演(講師:三輪睦雄氏)

一親として共感できる部分、ドキッとされる部分と講演を拝聴した。想像力の欠如は、学童保護者との会話のなかでも聞かれる言葉。子どもだけでなく、妻にも心を配ることで、より息子が心の通った人間に成長してもらいたい、育てたいと感じた。

実行委員長より



皆様のお陰で無事に第38回かな研を終えることが出来ました。ご協力、ご参加頂いた皆様には本当に感謝しております。

当日は大勢の方の前でお話する貴重な体験もさせて頂きました。私の場合、いろいろな偶然が重なって今回委員長を担う形になりましたが、周りの皆様の支援でかな研が成り立っていることを知る、良い経験になりました。

今、学童保育が変わっていく時期であり考えなくてはならないことがたくさんあります。関係するひとりひとりが学童保育を支えていく気持ちを発信し、神奈川県の学童保育が良い方向に進化する事を願っております。

活動報告(2月～3月の主な活動報告)

2月7日(土) 全国運営委員会

3月1日(日) 第38回神奈川県学童保育研究集会

2月8日(日) 同(指導員の課題)

3月4日(水) 第33回指導員交流会

2月18日(水) 38かな研実行委員会④

3月18日(水) 38かな研実行委員会⑤

2月20日(金) 2月度役員会

3月20日(金) 3月度役員会

♪ 地域連協だより ♪

相模原市連協より

相模原市は公営66カ所、民営19カ所と設置率は全国の政令市でも高い水準にあります。

公営では建替えや再整備、民営でも新規開設や施設拡張を行っているものの、ニーズの高まりから待機児童が多くでています。また、指導員の高齢化も問題となっています。待遇の問題等から若手が就労しにくく、定着もしづらい状況です。

連協加盟数は少ないものの、長年地道に活動を続けてきました。その甲斐あって、学童保育に対する市の予算増加、子ども子育て会議への参加、緊急確保事業の執行など、大きな成果につながってきました。問題はまだまだ多く、すぐに解決できることばかりではありませんが、引き続き地道に活動していきます。

今回の地域連協だよりは、相模原市と逗子市からです。

さて、新年度が始まりました。皆さんの地域ではどのような様子ですか？ これからも地域からの情報をお寄せください。

逗子市連協より

逗子市の学童保育は1978年に保護者による自主的事業としてスタートし、補助金運営やふれあいスクールと一体化した体制を経て、2012年度からは「逗子市放課後児童クラブ条例」に基づき、指定管理者制度にて市内にある5つ全ての小学校で公設の建物の中、4カ所は民間企業、1カ所は保護者会が運営しています。昨今では学童保育希望者が増え、大規模化が課題となっていました。省令を受け施行された「設備及び運営に関する条例」から待機児童問題が大きく浮上してきています。

さて、去る1月25日(日)に学童保育交流会を行いました。当日はお天気に恵まれ、入所予定の方達にご参加いただきました。各学童において入所前説明会はありますが、新規入所の方達にとって同じ市内学童でも父母会運営と民間企業運営の違い、保育園とは違うシステムなんだということを知るのにあまりにも情報が少なく不安に感じている方が多いのかなと思いました。



来月の「地域連協だより」では海老名市と寒川町を予定しています。お楽しみに！

<2015年度これからの予定>

4月2日(木) 2015年4月度県連協運営委員会(県連協事務所)

6月21日(日) 第40回神奈川県連協定期総会(横浜市)

6月28日(日) 第40回全国指導員学校南関東会場(東海大付属望洋高校・千葉県)

10月4日(日) 県連協拡大運営委員会・学習会(南足柄市)

11月7日(土)～8日(日) 第50回全国学童保育研究集会 in 大阪

※県連協運営委員会は4月より毎月第1木曜日に変更しました。(役員会は第3金曜日)